



桶が統一された綺麗な花売り場。年間、数百種類の花が並ぶ。新鮮なので日持ちも抜群（写真は赤松富仁撮影、他（A）も）

直売所には花が欠かせない

一年中切れ間なく 花を咲かせて売り上げ ウナギ登り

滋賀県東近江市・あいう直売館 切り花部会

編集部

「いつ行っても花がある」「あそこに行けば、必ずいい花がある」。そんな声があちこちから聞こえてくるのが、あいう直売館の花売り場。

二〇〇七年十一月号「直売所の売り上げを引っ張る切り花部会を訪問」でも紹介したが、この部会（約八〇人）は、発足してまだ三年しかたっていないのに売り上げは年々急増、約三四〇〇万円。つねにお客さんに来てもらう直売所にするためには、年中切らさずに出すことが重要だ。今回は、そのためにメンバ―たちがどのような工夫をしてきたのかを聞いてみた。



山本妙子さん。これはトコ箱栽培(2006年9月号参照)のデルフィニウム。メインはカーネーションだが、栽培している花は百種類以上 (A)

ユリ二万本がいつせいに咲いて大失敗

それまでの直売館の花売り場といえは、庭先でつくった趣味の花と、ほとんどがキク。そして冬場は花がなくなってしまうのが大きな問題だった。

「キク以外にもメインになる花をつくらう。とくに冬場もしっかり出せる花をつくらう」。三年前、切り花部会ができ、なかに「ハウスグループ」が誕生した。主なメンバ一二名、そのほとんどが母ちゃんたちだ。花専用ハウスを持つている人もいるが、水稲の育苗ハウスを利用する人も多い。

最初に取り組んだのがユリだった。一万二〇〇〇球の球根を買い込んで、それを一人一〇〇〇球くら

いずつ、十月中旬に植えたのだ。あくる年の六月になると見事なユリが咲き始めた。

しかし、花が咲いた喜びはほんのつかの間。一万本以上のユリがいつせいに咲いたものだから、それはもう大変な事態だ。直売所だけではとても捌ける数じゃない。早く売らないと枯れてしまう。

「出張営業」でファンが増えた

「もう、売りに行くしかない」。必死になってメンバ一みんなで病院に交渉したり、コンビニの店先に置いてもらったりと走り回った。役場は、近隣の四つの支所で即売をさせてくれた。廊下に並べると、ユリの香りが建物中に漂って、それに引き寄せられるように仕事帰りに結構買ってくれる人がいた。

なんとか売りつくすことができて一安心だったが、振り返ってみると、このときの営業のおかげで、このち直売所のファンも増えたという。

「蕾の花も最後まで咲いたわよ。ユリは花屋さんでたまに買うことがあるけど、普通は最後まで咲ききらないうちに枯れてしまうのよね。日持ちもいいし、こんなユリは初めて」。そんな嬉しい反応がたくさんあったのだ。

ハウスグループの主な花の作付け方

6	7	8	9	10	11	12	備考
		○	○	○	○	○	年内出しはイネの育苗ハウスを利用。スカシユリ、LAユリなどの冷凍球で品種は14種ほど
		○	○	○	○	○	2週間ごとにずらして植えて、約半年間出荷（栽培は中村忠司さん1人）
							遅植えはお彼岸狙い 主な品種はマイクロアスターのネネローズ系
							品種は、一番星・あずまのほほえみ・つくしの羽衣・つくしの波の5種
		○	○	○	○	○	早植えはイネの育苗ハウスを利用。品種は主にカルテットシリーズとファミリーシリーズ
							早植えはイネの育苗ハウスを利用。主な品種はクリスマスドリームやイルデフランスなど
							ト口箱栽培（2006年9月号参照）。栽培は山本妙子さん1人
		○	○	○	○	○	真冬に、赤や青の色水を吸わせたものを出すとよく売れる

○ 播種、または植え付け

〜 少しずつずらして植える期間

■ 収穫

直売所では一度に同じものをつくってもダメ。この教訓を活かし、さっそく勉強会の開始だ。ユリは球根を秋に植えると、冬眠して翌年の六月ごろに花が咲く。でも普及所で教えてもらった冷凍球は、一度寒さに当たっているのですぐに芽を出し生育する。品種もさまざままで、植えてから咲くまで

ユリ
—— 冷凍球を少しずつ時期をずらして植える



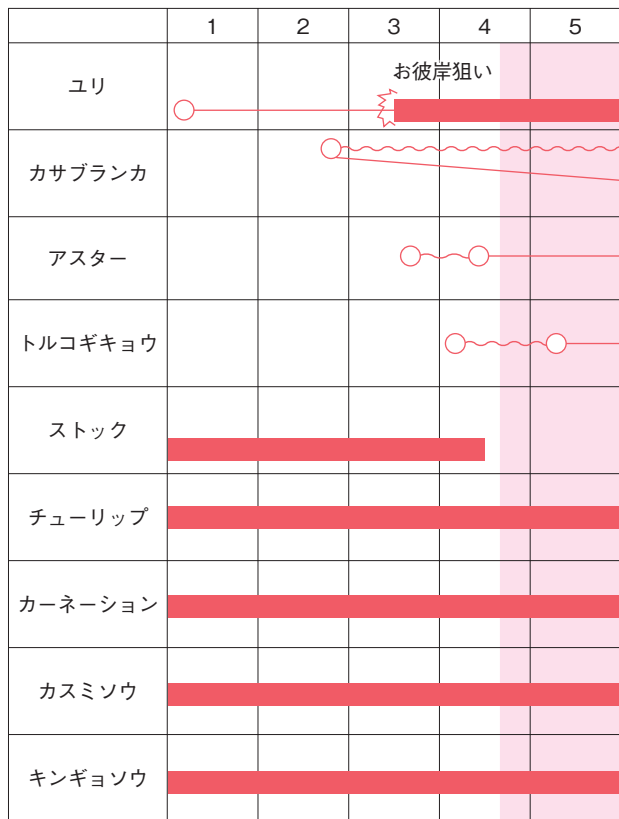
あいとう直売館。年間の来客数は約20万人。花を目当てに県外からくる人も多い(A)

直売所には花が欠かせない

の期間が八週・一〇週・一二週などいろいろあるという。そんな話にみんなビックリ。「それなら、開花が重ならないように植え付け計画を立てよう!」。

いまの植え付けは、右の図のように八月上旬がスタートだ。この時期に植えると十月の終わり、紅葉狩りの観光客がくる時期にちょうど花が咲く。八月中旬、下旬と少しずつずらして植えたものは、冬の

はの花に、いろいろと挑戦。二年前、図のように、アスター・トルコギキョウ・ストック・チューリップの五種類で、一年中切らさずにリレー的に出す形が完成した。どの花もユリの教訓を活かして、まき時期や植え付け時期を少しずつずらす。直売所では、切らさずにちよこちよこ長く出せることがポイントになるのだ。



※ハウスグループができるまでは、露地栽培でできる4月下旬～9月中旬以外の時期に出せる花がほとんどなかった
 ※他にもヒマワリは45～50日タイプを年中出す人や、冬に紅花などをつくる人もいる
 ※露地栽培では、やはり4月下旬～9月中旬までは何百種類と花が出てくる。キクがメイン

花が少ない時期に年末まで咲く。また、十一月ごろからも少しずつずらして植えると、今度は翌年の三月から六月まで咲いてくれる。これで冬から春の寂しい時期にユリが出せるようになった。

トルコギキョウ — 冷蔵庫も駆使して六回植え

ユリ以外にもグループでは、ハウスならで

カサランカを1ウネずつ半年も植え続ける

中村忠司さん

▼1本500円!

切り花部会全体の部会長をしている中村忠司さんもハウスグループのメンバーだ。つねに新しいことに挑戦をする開拓者で、最近はユリの王様といわれるカサランカに挑戦した。植え付けは、なんと2月下旬から9月上旬までずっと、2週間くらいずつずらして1ウネ125球ずつ植えた。すると、6月下旬から11月下旬までの約半年間、1株に7~8つも花がつく見事なカサランカがほぼ切れ間なく出せたのだ。

お客さんからは「こんなところにカサランカがある」と評判で、これが1本500円でよく売れる。最近是指名買いも多くなり、すぐに無くなってしまふほどの人気商品だ。

▼アスターに電照して11月下旬出し

また、これまではどんなに遅くても9月下旬までしか出せなかったアスターを、11月下旬まで出すことにも挑戦中。この地区では「ありえない時期の栽培」だというのが、そのためにハウスに電照を一列だけ入れた。いまのところ生育は順調で、11月上旬にはさっそく最初の花が出せたという。



中村忠司さん。ユリの王様、カサランカを半年間出す(A)

たとえばトルコギキョウは、四月上旬・中旬・下旬と三回に苗が届くようにし、さらに届いた苗をそれぞれ二週間ほど冷蔵庫に入れて遅らせて植えるので、合計六回のずらし植えができる。これまでは七月のほんの一時、ドカッと出て終わっていたものが、いまでは約一カ月半の間、切れ間なく出せる。

メンバーの中でもとくに花に詳しいと評判の山本妙子さんは、〇七年初めて最後に届いた冷蔵苗を使って、五月上旬の遅植えに挑戦してみた。暖かい時期だから、草丈はグングンと伸びる。でも花がなかなか咲いてこない。これはダメかなと思いかけた八月上旬、ちらほらと咲き始め、なんと一年で一番お客さんが多いお盆にバッチリと出せたのだ。これはいい! なにせお盆は、お客さんが店内に入りきらないくらいドッと来るので整理券を配るほどの時期。値段も普段より高く売れた。

発見した技術はみんなで交換

こうしてハウスグループでは、つねに新しいことに挑戦し、失敗も繰り返しながら新しい花づくりをしてきた。技術的にはわからないことだらけだが、

直売所には花が欠かせない

トルコギキョウは3回切れる



上田恒子さんは、07年初めてトルコギキョウに挑戦（4月植え）。でも途中で枯れてしまうものが多かった。「もう、絶対につくらん!」と思っていたときに「5cmくらい株を残して切って肥料をやれば、また花が咲くよ」と仲間が教えてくれた。試してみると、なるほど切り口から2〜3本の枝が伸びてきて、30cmくらいで綺麗な花が咲いた。これに味をしめた上田さん、さらにもう一度切ったあとに肥料をやったら、また花が切れた! 「トルコギキョウは儲かるわ」と前言撤回

こんな情報交換をするのもメンバーの楽しみのひとつ。成果が出ると、これがまた楽しくなってくる。まだまだ進化し続けていく部会である。

また、ユリやチューリップの球根は、5cm以上深く植える。球根はだんだんと地表に上がってくるので、大事な上根（細根）が地表面に出てしまうと、ポリユームのある花が咲かないわ

ただ。セルトレイよりスジまきの方が、芽が出やすい。さらに、タネはすぐにまかせておいてから、翌日にまくのがポイントだという。

たとえば、アスターは育苗が難しい。タネをまいてもなかなか芽が出ない。あるメンバーが発見したのは、イネの育苗トレイにスジまきする方法。タネをまいてもなかなか芽が出ない。あるメンバーが発見したのは、イネの育苗トレイにスジまきする方法。

添え花を入れて、
単価 50円アップ

通常 300円 → 350円で売れた!!



山本妙子さんはカーネーション4〜5本を、一束300円で売っていたのだが、昨年はカスミソウを一本添えて350円で出してみた。これがじつによく売れた。カーネーションの添え花はカスミソウ以外に、花アスパラや宿根リモニウムも合うそう